

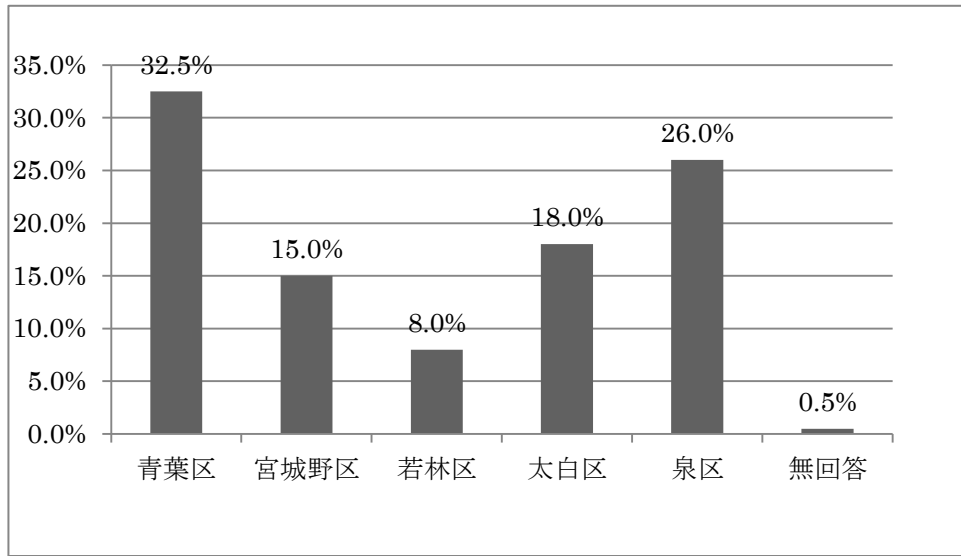
「精神障害者とその家族を支える支援のあり方について」に関する
家族へのアンケート調査結果詳細について

【目次】

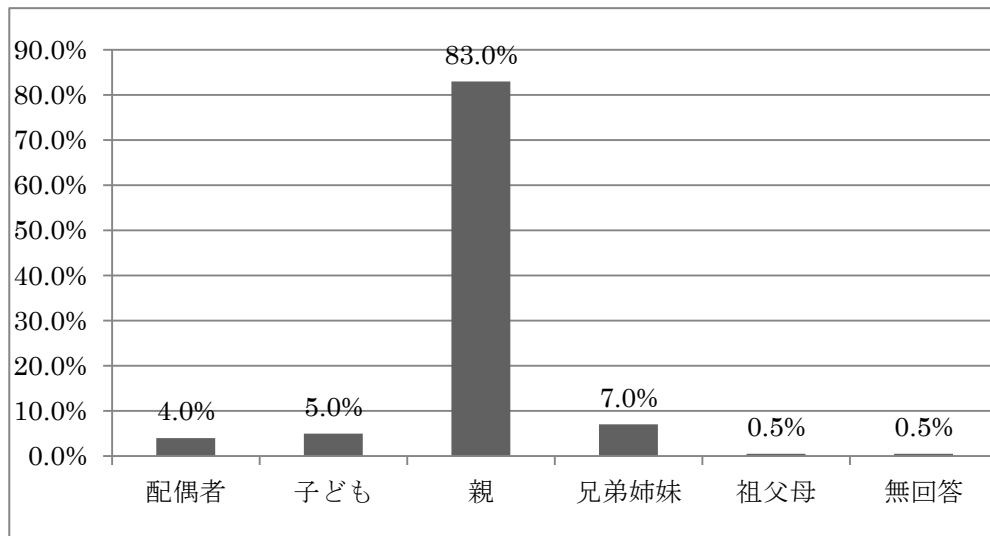
#		質問内容	有効回答数	ページ
問 1		家族の住まいの区について	200	P2
問 2		家族の続柄について	200	P2
問 3	(1)	当事者の年代及び性別について	200	P3
	(2)	家族の年代及び性別について	200	P3
問 4	(1)	当事者及び家族の同居状況について	200	P4
	(2)	同居家族の続柄について	158	P4
	(3)	別居の場合の当事者の住まいの状況について	40	P4
問 5		当事者の主な生計について	200	P5
問 6		当事者の診断名について	200	P5
問 7		当事者の発症年代について	200	P6
問 8		当事者の発症してからの期間について	200	P6
問 9	(1)	家族会への参加状況について	201	P7
	(2)	参加家族会の種類について	47	P7
	(3)	家族会に参加していない理由について	147	P7
問 10	(1)	家族教室への参加状況について	201	P8
	(2)	参加家族教室の種類について	86	P8
	(3)	家族教室に参加していない理由について	106	P8
問 11	(1)	家族が当事者に対して困ったことの有無について	201	P9
	(2)	当事者に対して困った事項について	186	P9
問 12	(1)	家族が困った際の相談の有無について	201	P10
	(2)	困った際の相談相手について	157	P10
	(2)-2	家族が相談した時期について	157	P10
	(2)-3	相談した後の継続性について	157	P11
	(3)	相談していない理由について	16	P11
問 13	(1)	家族に対する支援の十分さについて	201	P12
	(3)	家族が必要だと考える家族に対する支援やサービスについて	128	P12

【集計結果】

問1 家族の住まいの区について

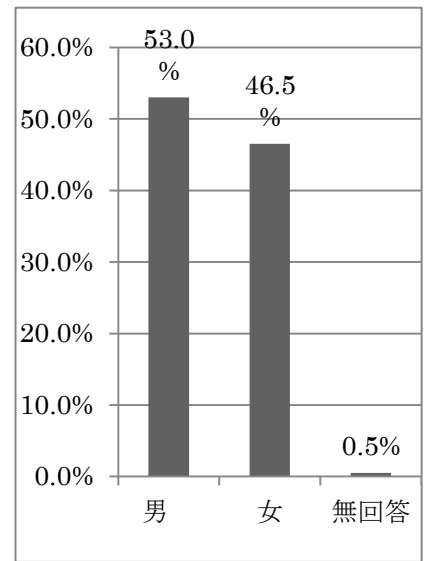
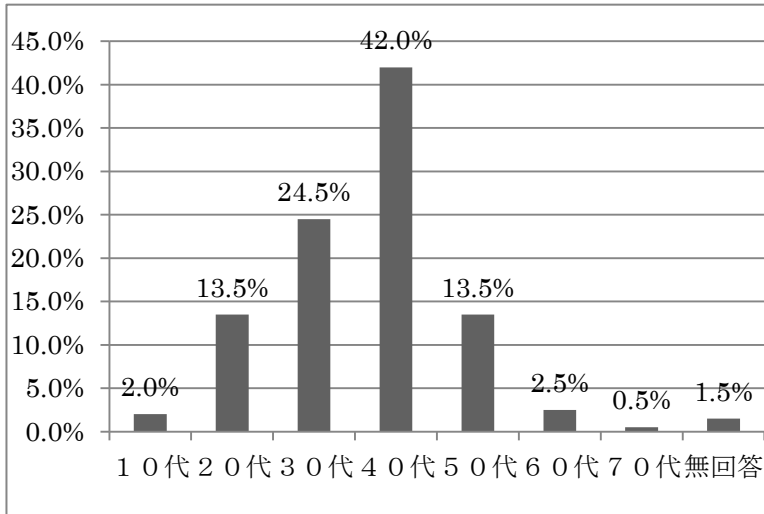


問2 家族の続柄について



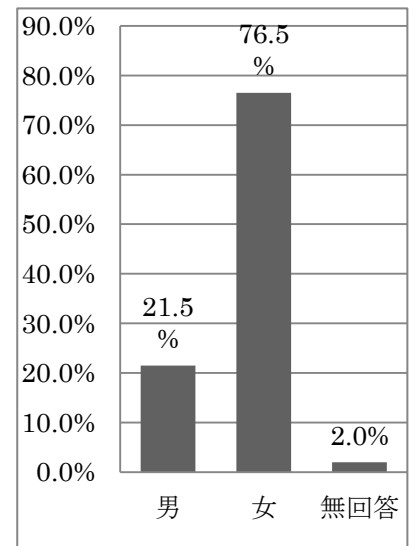
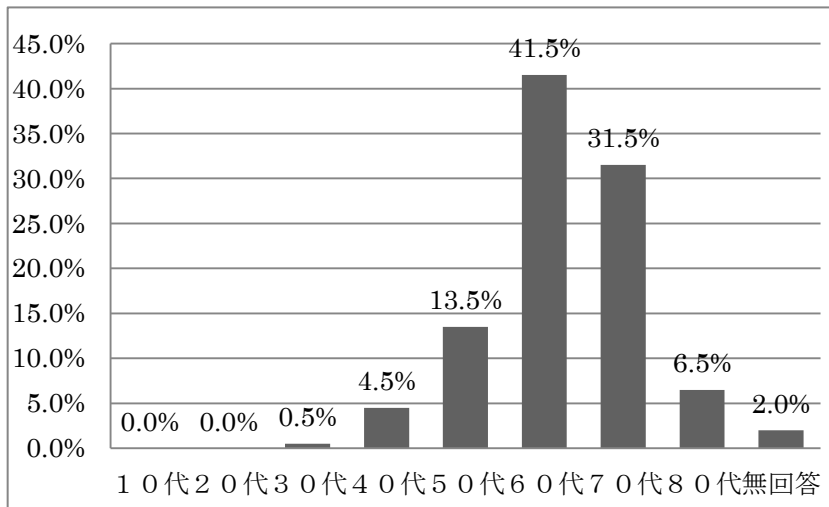
⇒回答者の続柄は、親が83.0%と最も多く占めていた。

問 3(1)(2)当事者の年代及び性別について



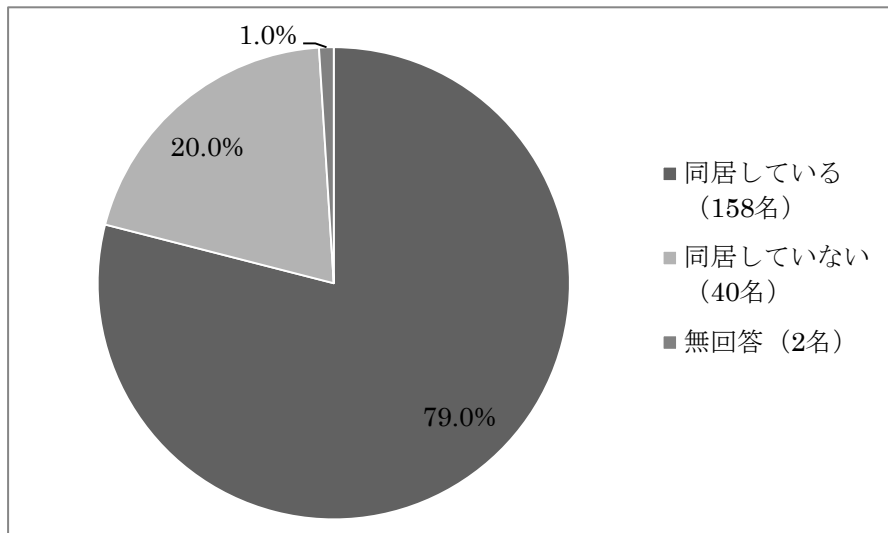
⇒当事者の年齢は、40代 42.0%、30代 24.5%、20代 13.5%といった働き世代が8割を占めていた。

(2) 家族の年代及び性別について



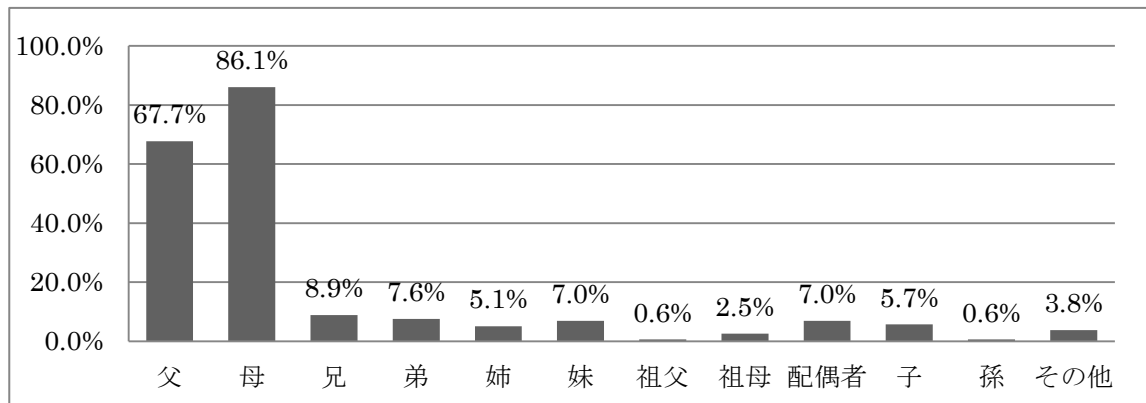
⇒回答家族の年齢は、60代 41.5%、70代 31.5%、80代 6.5%と高齢の世代が8割を占めていた。

問 4 (1) 当事者及び家族の同居状況について



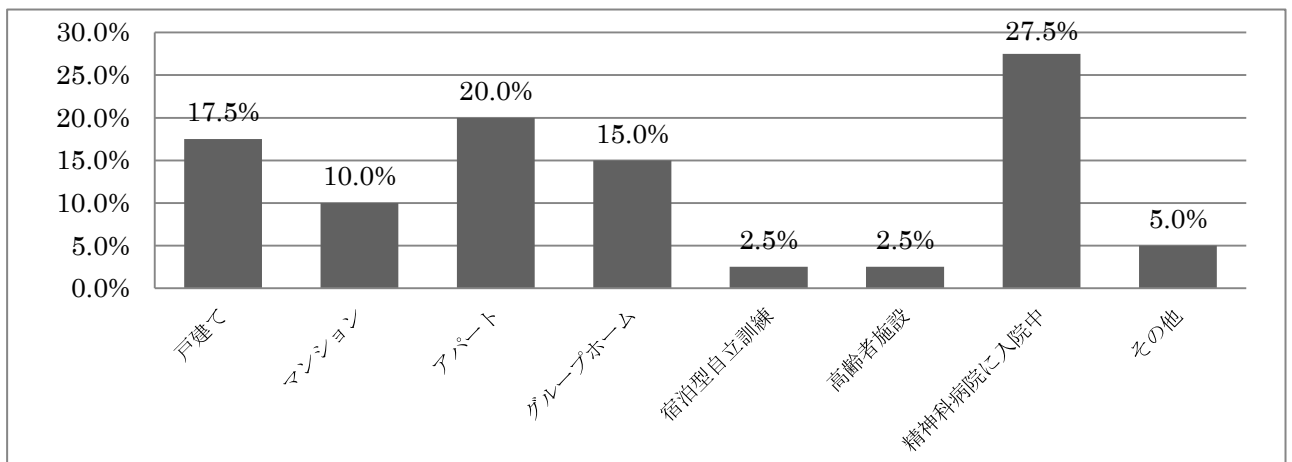
⇒回答家族の8割が同居している状況である。

(2) 同居家族の続柄(複数回答)

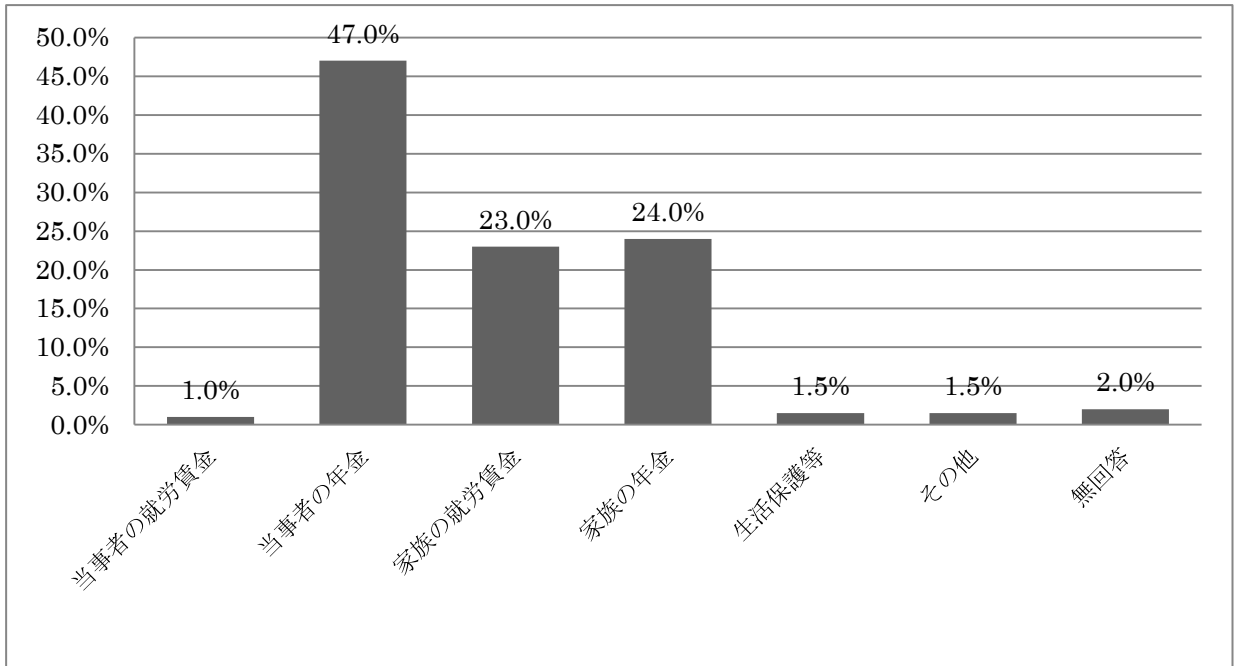


⇒同居家族は、母 86.1%、父 67.7%であり、同居家族は親が多いことが分かった。

(3) 家族と別居の場合の当事者の住まい

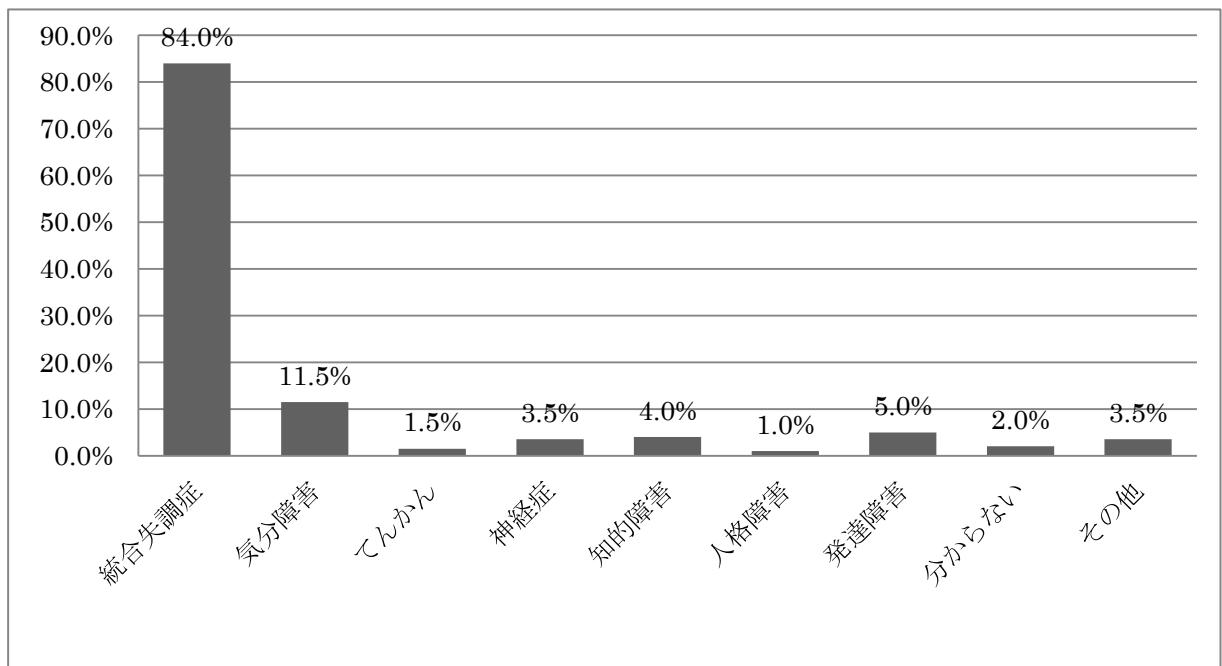


問 5 当事者の主な生計について



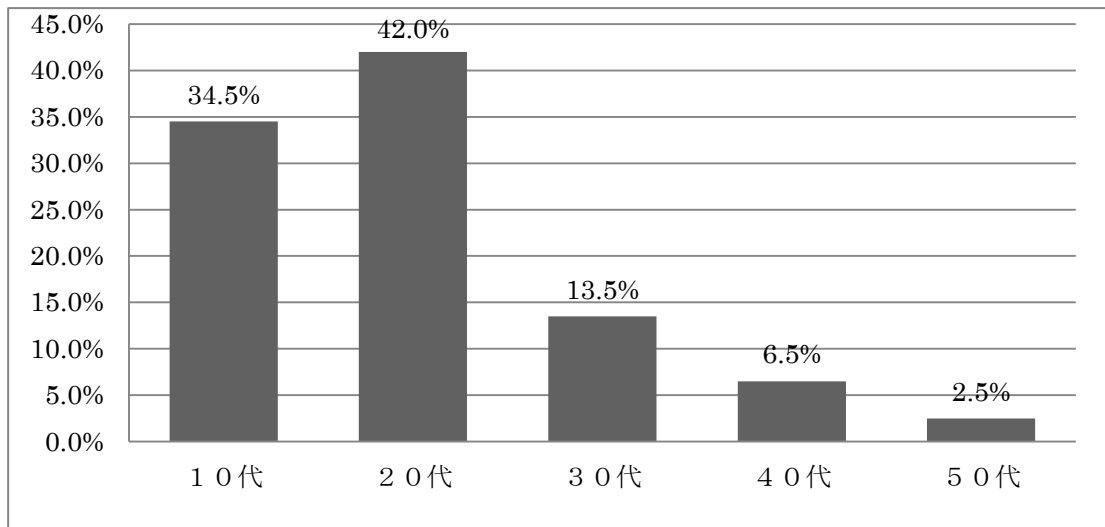
⇒当事者の年金が 47%である一方、家族の年金・就労賃金がほぼ半数を占めていた。

問 6 当事者の診断名について(複数回答)



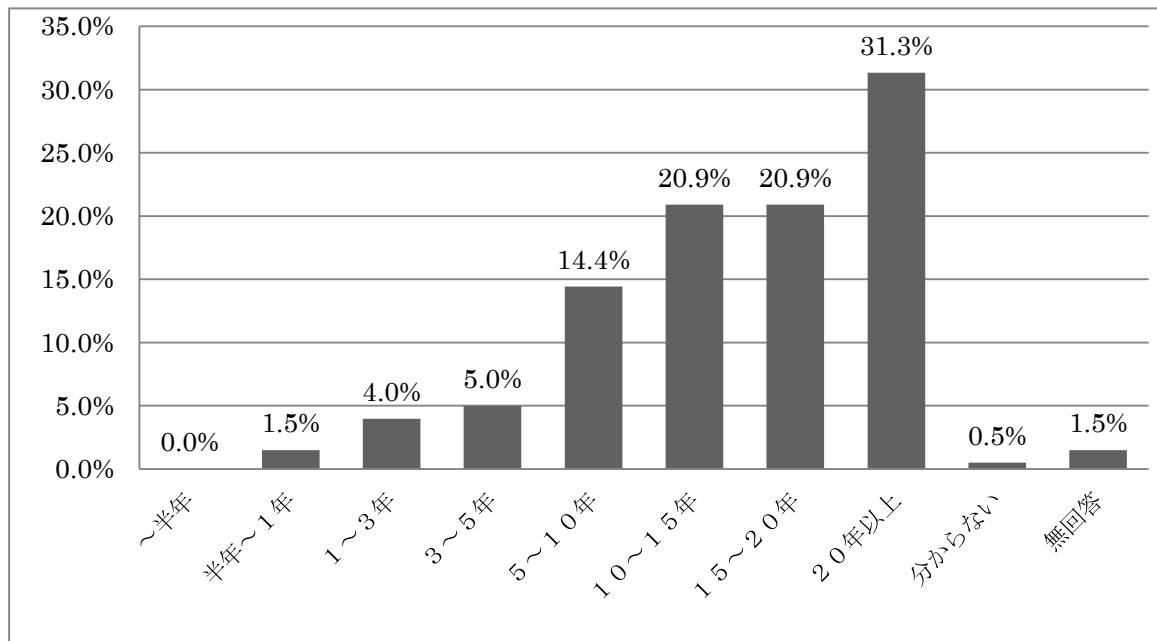
⇒当事者の診断名は、統合失調症が 84%であった。

問7 当事者の発症年代について



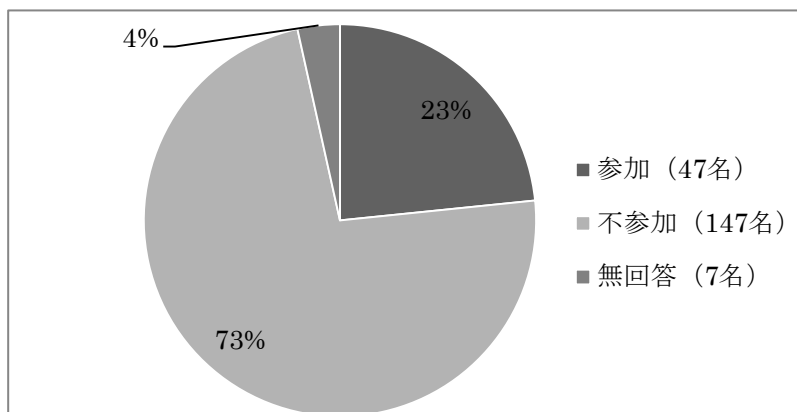
⇒当事者の発症年代は、20代 42.0%、10代 34.5%と若年発症が約8割を占めていた。

問8 当事者の発症してからの期間について

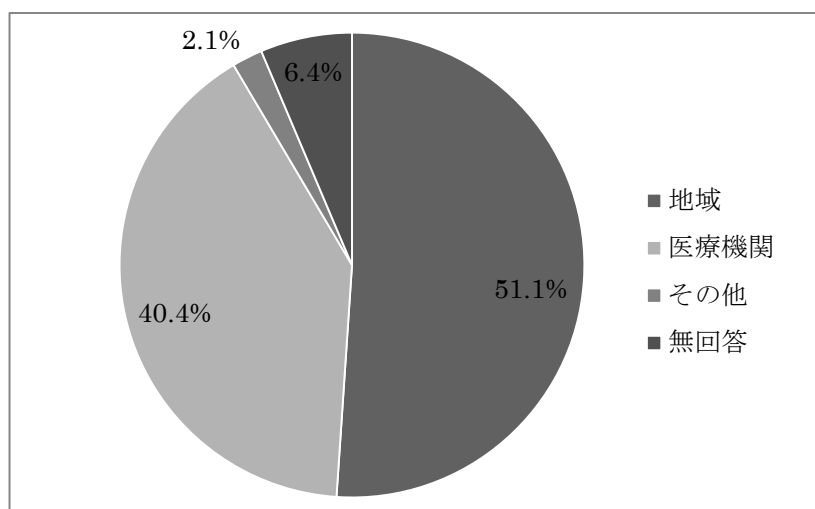


⇒20年以上 31.3%、10～15年・15～20年それぞれ 20.9%であり、10年以上経過している当事者は 73.1%であった。

問9 (1) 家族会への参加状況について



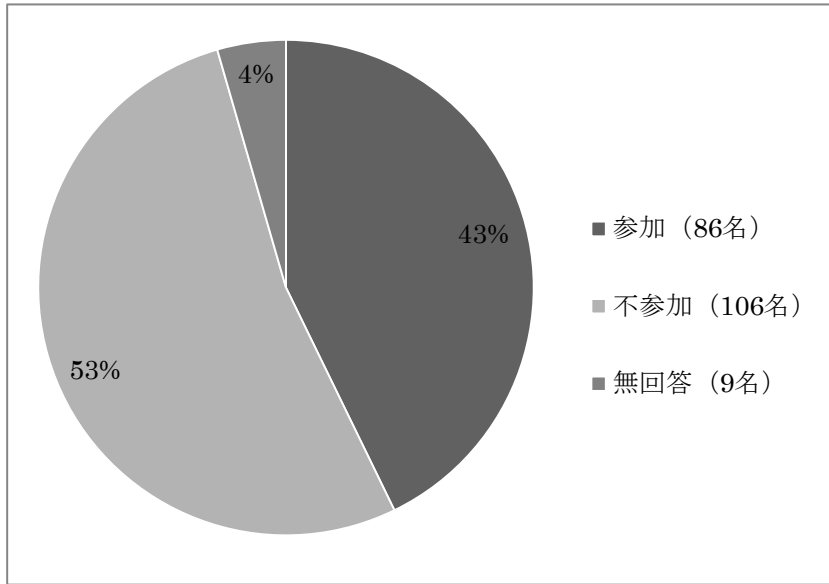
(2) 参加家族会の種類について



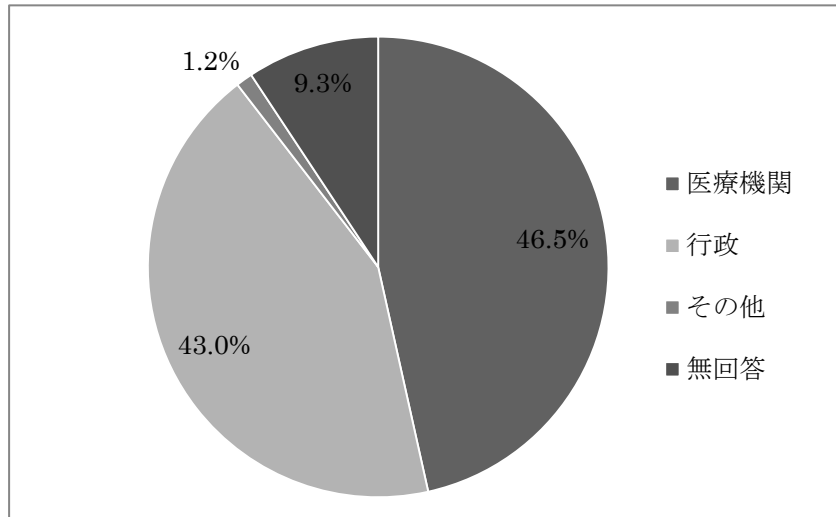
(3) 家族会に参加していない理由について

回答内容	数	割合
家族会があることを知らなかった。	29	19.7%
知っていたが自宅から出ることが出来ない等の理由から、参加できなかった。	13	8.8%
参加したことがあるが、相談したい内容が異なり、継続しなかった。	16	10.9%
参加したことがあるが、参加家族の世代が異なり、継続しなかった。	4	2.7%
現在、相談機関に相談できているので、必要だと思ったことがない。	31	21.1%
現在、当事者に関することで困ったことがないので、必要だと思ったことがない。	8	5.4%
その他	28	19.0%
無回答	18	12.2%

問 10 (1) 家族教室への参加状況について



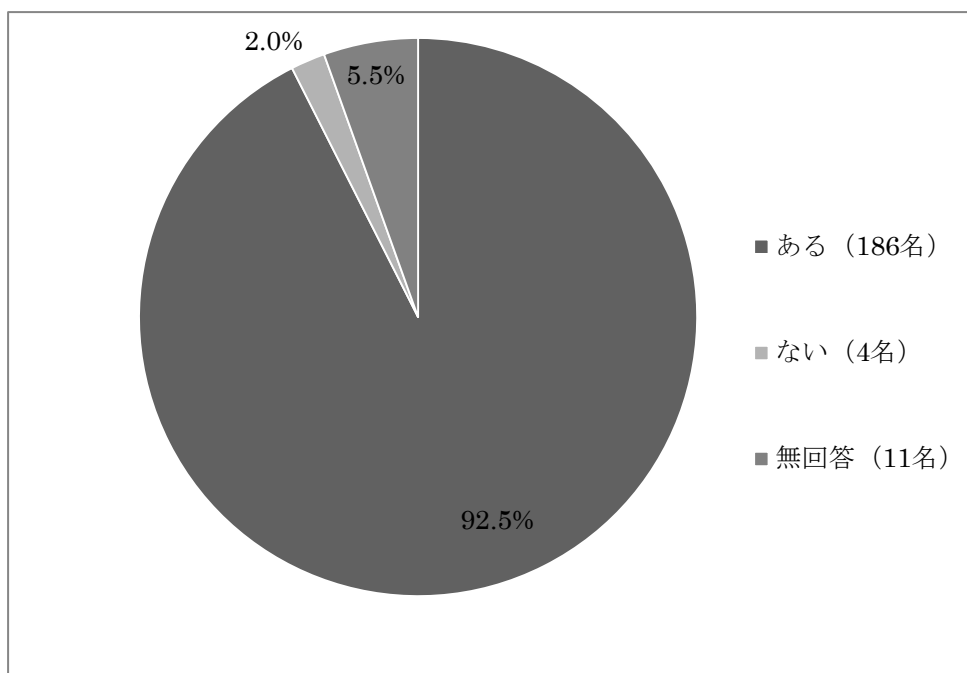
(2) 参加家族教室の種類について



(3) 家族教室に参加していない理由について

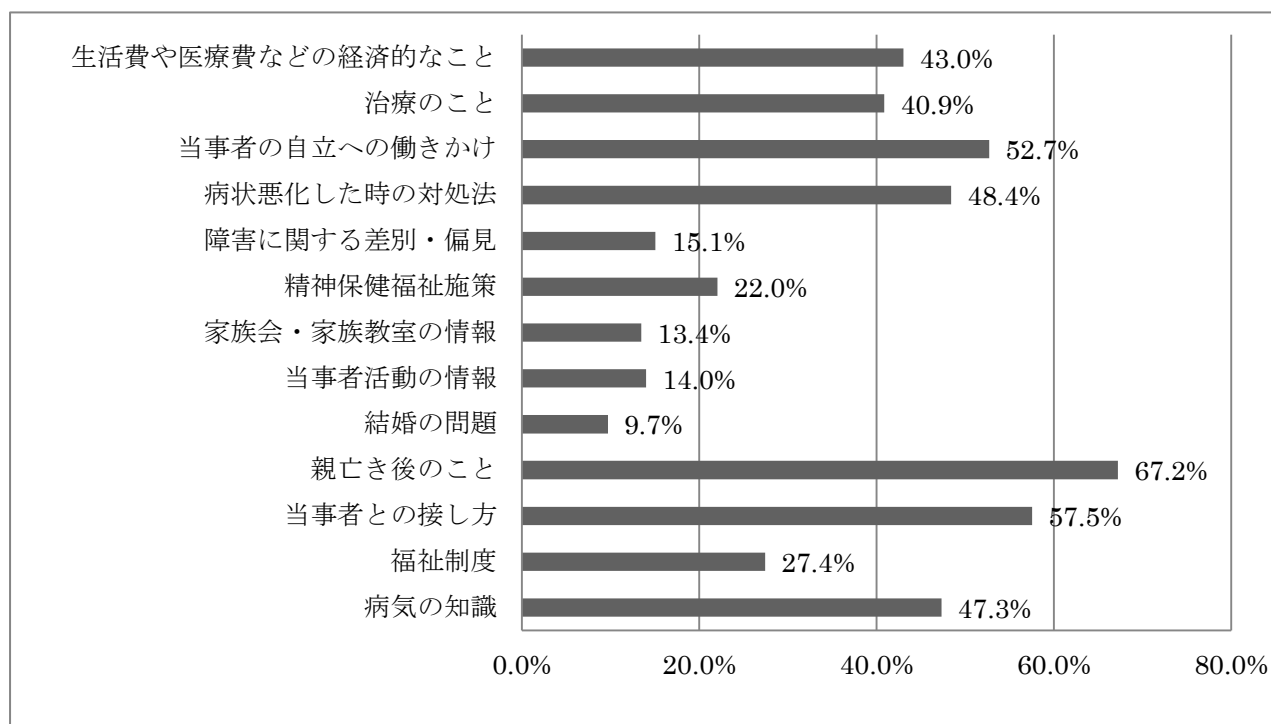
回答内容	数	割合
家族教室があることを知らなかった。	26	24.5%
知っていたが自宅から出ることが出来ない等の理由から、参加できなかった。	12	11.3%
参加したことがあるが、相談したい内容が異なり、継続しなかった。	8	7.5%
参加したことがあるが、参加家族の世代が異なり、継続しなかった。	2	1.9%
現在、相談機関に相談できているので、必要だと思ったことがない。	26	24.5%
現在、当事者に関することで困ったことがないので、必要だと思ったことがない。	5	4.7%
その他	23	21.7%
無回答	4	3.8%

問 11 (1) 家族が当事者に関して困ったことの有無について



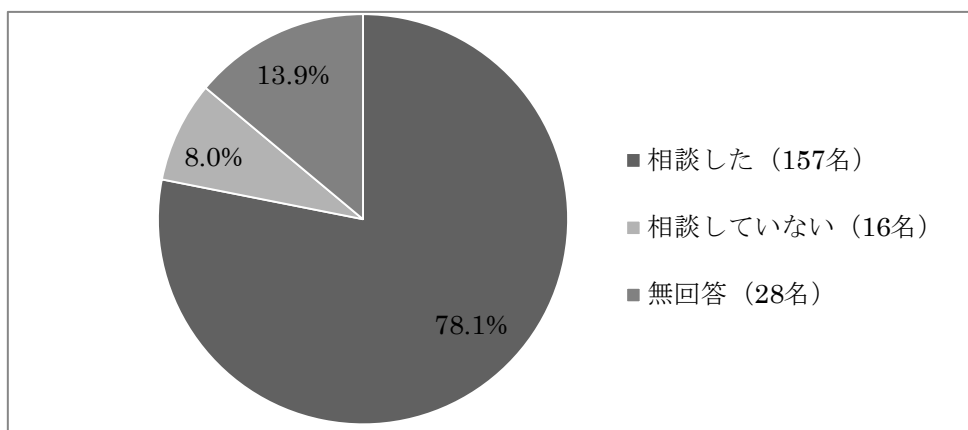
⇒9割の家族が当事者に関して困ったことがあった。

(2) 当事者に関することで困った事柄について(複数回答)

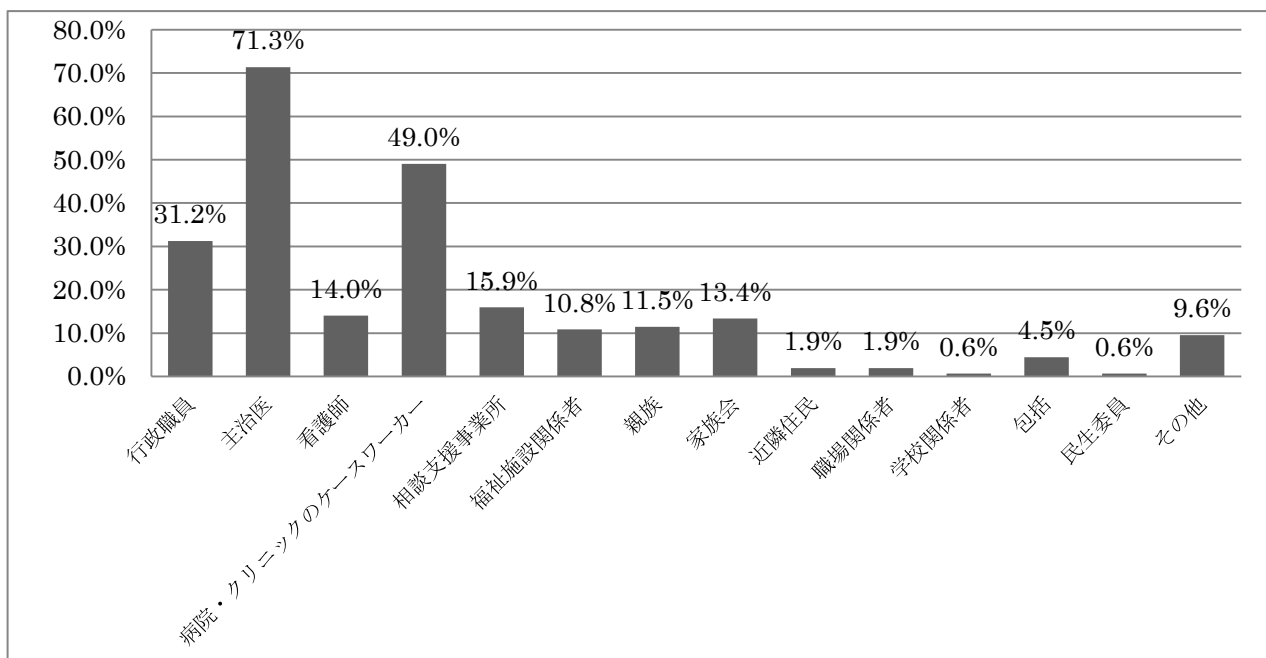


⇒①親亡き後 (67.2%) ②当事者との接し方 (57.5%) ③当事者の自立への働きかけ (52.7%) といった、当事者への関わり方や将来に関して困る家族が多いことが分かった。

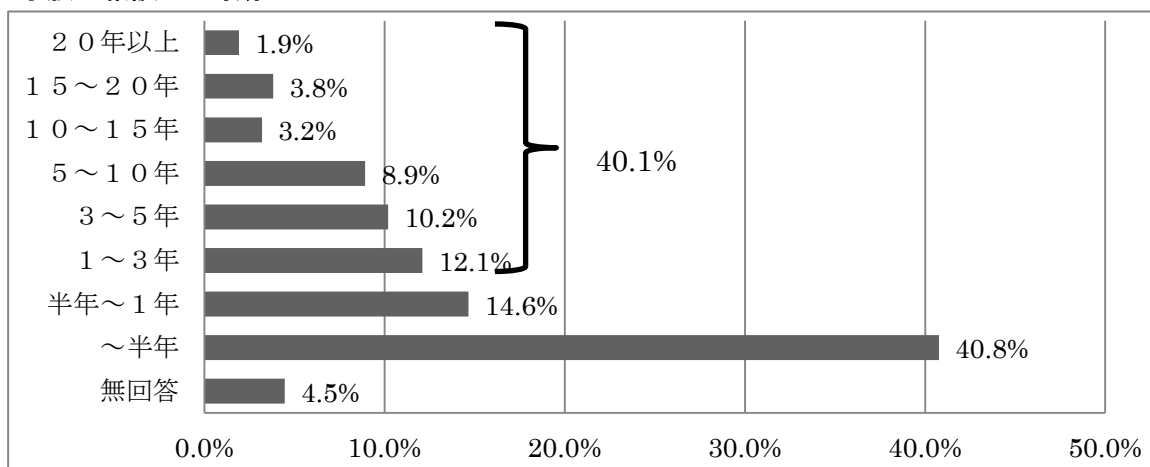
問 12 (1) 家族が困った際の相談の有無について



(2)-1 困った際の相談相手について(複数回答)



(2)-2 家族が相談した時期について



⇒半数は、1年以内に相談していたが、1年以上相談できていなかった家族は40.1%に及んだ。

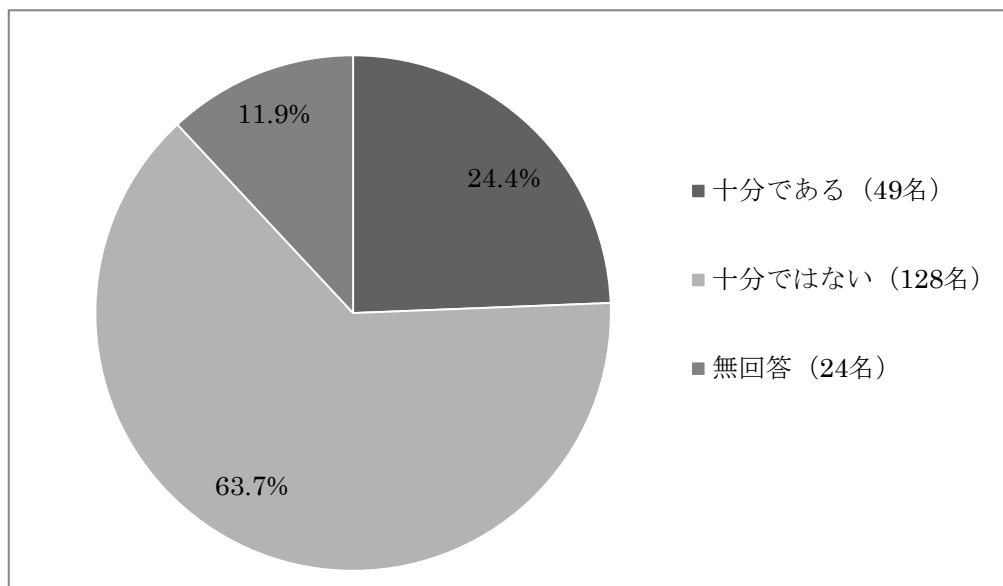
(2)-3 相談した後の継続性について

回答内容	数	割合
現在も相談は継続している	90	57.3%
現在、他の相談先につながり、その相談先で継続している	17	10.8%
相談し、問題点が解消したため、相談は終了した	13	8.3%
相談したが、数回相談した後中断し、現在どこにも相談していない	19	12.1%
数年間相談していたが、対応者が代わる等の理由で中断し、現在どこにも相談していない	3	1.9%
無回答	5	3.2%
その他	10	6.4%

(3) 相談していない理由について(複数回答)

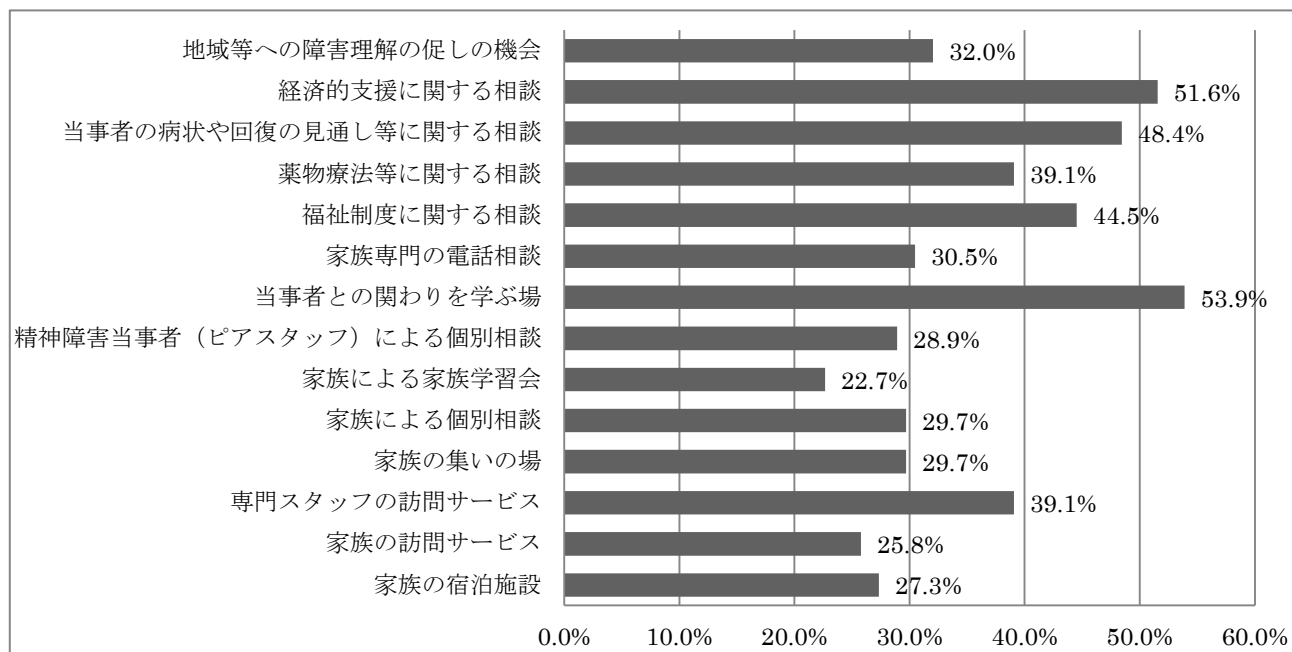
回答内容	割合
相談者が忙しいと思いためらってしまった。	6.3%
専門機関は敷居が高く相談しづらい	25.0%
どこに相談すればいいかわからない	62.5%
人に知られたくないのでそもそも相談したくない	6.3%
自分だけで対処できているから相談する必要がある	18.8%
当事者のことが心配で、つきっきりとなっているため気軽に相談できない	6.3%
家族が相談することについて、当事者が拒否するため気軽に相談できない	6.3%
その他	25.0%

問 13(1) 家族に対する支援の十分さについて



⇒家族の 63.7%は、家族に対する支援が十分ではないと感じている。

(3)-1 家族が不十分だと考える家族に対する支援やサービスについて(複数回答)



⇒①当事者との関わりを学ぶ場 (53.9%) ②経済的支援に関する相談 (51.6%) ③当事者の病状や回復の見通しに関する相談 (48.4%) といった、当事者への対応や将来に関する相談できる場を求めていることが明らかとなった。

「精神障害者を支える家族の困りごとや希望」に関する調査

日頃より、本市の市政運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本市では現在、精神障害者を支える家族に対する支援について検討を進めているところです。そのため、精神障害者の家族の現状を把握し、地域において家族に必要な具体的な支援内容等の検討に活用するためにアンケート調査を実施するものです。

つきましては、大変お忙しい中とは思いますが、アンケート調査にご協力をいただきたくお願い申し上げます。

なお、お送りいただいたアンケート調査の結果につきましては、統計的に処理を行いますので、回答内容が外部に漏れることはありません。

平成 29 年 2 月

仙 台 市

- ・ このアンケート調査は、仙台市にお住まいの精神障害者の家族に対する支援状況などについてお聞きします。
- ・ アンケート調査は、精神疾患の治療のために病院及びクリニックに通院・入院されている精神障害者の家族、各病院・クリニックの家族会・家族教室、地域の家族会、区役所の家族教室に参加されている方々などに回答をお願いしております。
- ・ アンケート調査の記載にあたり、お身内に複数の精神障害者がいて回答に迷うような場合は、いずれかお一人を想定してご回答ください。その場合、地域で生活する際にその方のことで困ったことが生じて、「家族にもこんなサービスがあるとよかったな」と感じたご経験を思い浮かべながらご回答ください。
- ・ ご記入いただいたアンケート調査は、お手数ですが、**3月31日（金）**までに同封の返信用封筒によりご返送ください。
- ・ この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

アンケート調査票本文

お身内の精神障害者（以下、当事者）及び家族（以下、あなた）の現状についてお尋ねします。

原則として、当てはまる項目 1 つに○をつけて下さい。なお、(複数回答可)と記載がある場合には複数の当てはまる項目に○をつけることができます。

問1 現在のあなたのお住まいの区を選んでください。

- ① 青葉区 ② 宮城野区 ③ 若林区 ④ 太白区 ⑤ 泉区 ⑥ その他() 市)

問2 当事者からみたあなたの続柄をお選びください。

- ① 配偶者 ② 子ども ③ 親 ④ 兄弟姉妹 ⑤ 祖父母 ⑥ その他()

問3

(1) 当事者の年齢と性別について教えてください。【年齢】 歳 【性別】 ① 男 ② 女

(2) あなたの年齢と性別について教えてください。【年齢】 歳 【性別】 ① 男 ② 女

※いずれにおいても、平成29年1月1日現在の年齢をご記載ください。

問4 (1) 現在、当事者とあなたは同居していますか。 ➡ ① はい ② いいえ

◆ (1)で「① はい」と答えた方 → (2)へ

◆ (1)で「② いいえ」と答えた方 → (3)へ

(2) 同居の家族構成を教えてください(同居している方の、当事者からみた続柄をすべてお選びください)。

- ① 父 ② 母 ③ 兄 ④ 弟 ⑤ 姉 ⑥ 妹 ⑦ 祖父 ⑧ 祖母
⑨ 配偶者 ⑩ 子 ⑪ 孫 ⑫ その他()

(3) 別居の場合、当事者のお住まいを教えてください。

- ① 戸建て ② マンション ③ アパート ④ グループホーム ⑤ 宿泊型自立訓練
⑥ 高齢者施設 ⑦ 精神科病院に入院中 ⑧ その他()

問5 当事者の主な生計について教えてください。

- ① 当事者の就労賃金 ② 当事者の年金 ③ 家族の就労賃金 ④ 家族の年金
⑤ 生活保護等 ⑥ その他()

問6 当事者の診断名を下記の中からお選びください(複数回答可)。


- ① 統合失調症 ② 気分障害(うつ病・躁病・躁うつ病) ③ てんかん ④ 神経症
⑤ 知的障害 ⑥ 人格障害 ⑦ 発達障害(広汎性発達障害・注意欠陥多動性障害等)
⑧ 分からない ⑨ その他()

問7 当事者の発症年齢を下記の中からお選びください。

- ① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代以上

問 8 現在、当事者の方は、発症してから何年目ですか(おおよそで構いません)。

- ① ～半年 ② 半年～1年 ③ 1～3年 ④ 3～5年 ⑤ 5～10年
⑥ 10～15年 ⑦ 15～20年 ⑧ 20年以上 ⑨ 分からない

問 9 (1)現在、あなたは家族会(※)に所属していますか。  ① はい ② いいえ

※家族会とは、精神障害者がお身内にいる家族が集まり、悩みを語り合い、互いに支え合う会のことです。(例：みどり会、宮城県精神障害者家族連合会など)

◆ (1)で「① はい」と答えた方 → (2)へ

◆ (1)で「② いいえ」と答えた方 → (3)へ

(2)参加している家族会を教えてください。

()

(3)参加していない理由を教えてください。

- ① 家族会があることを知らなかった
② 知っていたが自宅から出ることが出来ないなどの理由から、参加できなかった
③ 参加したことがあるが、相談したい内容が異なり、継続しなかった
④ 参加したことがあるが、参加家族の世代が異なり、継続しなかった
⑤ 現在、相談機関に相談できているので、必要だと思ったことがない
⑥ 現在、当事者に関することで困ったことがないので、必要だと思ったことがない
⑦ その他 ()

問 10 (1)現在、あなたは家族教室(※)に参加していますか。  ① はい ② いいえ

※家族教室とは、精神障害者がお身内にいる家族が集まり、精神障害についての学習や話し合いなどをする教室のことです。(例：病院の家族教室、各区役所の家族教室など)

◆ (1)で「① はい」と答えた方 → (2)へ

◆ (1)で「② いいえ」と答えた方 → (3)へ

(2)参加している家族教室を教えてください。また、参加回数もお教えてください。

() 年間()回

(3)参加していない理由を教えてください。

- ① 家族教室があることを知らなかった
② 知っていたが自宅から出ることが出来ないなどの理由から、参加できなかった
③ 参加したことがあるが、相談したい内容が異なり、継続しなかった
④ 参加したことがあるが、参加家族の世代が異なり、継続しなかった
⑤ 現在、相談機関に相談できているので、必要だと思ったことがない
⑥ 現在、当事者に関することで困ったことがないので、必要だと思ったことがない
⑦ その他 ()

あなたに必要な支援やサービスについてお尋ねします。

問 13 (1) 現在、家族の立場であるあなたに対する支援は十分だと感じていますか。

➡ ① はい ② いいえ

◆ (1)で「① はい」と答えた方 → (2)へ

◆ (1)で「② いいえ」と答えた方 → (3)-1、(3)-2 へ

(2)十分だと感じたのは、どのような支援やサービスがあったからですか。下記にご記載ください。

(3)-1 あなたが必要だと考える家族に対する支援やサービスを選んでください(複数回答可)。

- ① 家族が休養のために利用できる宿泊施設
- ② 同じ境遇の家族が訪問し相談にのってくれるサービス
- ③ 医療福祉スタッフが訪問し相談にのってくれるサービス
- ④ 同じ境遇の家族同士が集まり悩みを共有する場
- ⑤ 同じ境遇の家族による個別相談の場 (※1)
- ⑥ 同じ境遇の家族が主催する家族学習会 (※2)
- ⑦ ピアスタッフ (※3) による個別相談の場
- ⑧ 当事者への関わり方等について具体的に学べる場 (例：SST (※4) など)
- ⑨ 家族専用の電話相談
- ⑩ 福祉制度に関する相談・情報提供
- ⑪ 薬物療法(薬の効果や副作用)等に関する相談・情報提供
- ⑫ 当事者の病状や回復についての見通しなどについての相談・情報提供
- ⑬ 経済的支援に関する相談・情報提供
- ⑭ 当事者を取り巻く人たちに対する障害の理解の促しの機会

※1 家族による個別相談…相談することで家族の実体験に基づいた当事者の病状・治療・回復の見通し等を共有できる。

※2 家族学習会…体系的に作られた学習プログラムをもとに同じ境遇の家族が主催する学習の場

※3 ピアスタッフ…自身も病気の経験があり、それを活かして当事者の回復に寄与するスタッフ

※4 SST…ソーシャルスキルトレーニングの略称。人が社会でほかの人と関わりながら生きていくために欠かせないスキルを身につける訓練のこと。

(3)-2 上記選択肢以外で、必要だと思う支援やサービスを、下記にご記載ください。

問 14 その他(感じていることなど、ご自由に記入してください)

アンケート調査は以上になります。
ご協力ありがとうございました。